



ここから世界へ、ここから未来へ
HIROSHIMA SUMMIT
広島サミット県民会議

広島サミット県民会議第4回役員会 次第

日時 令和5年1月17日（火） 14時30分～
場所 グランドプリンスホテル広島2階 シーショア

1 開会

2 議題

- (1) 広島サミット県民会議令和4年度事業計画（変更案）について（審議）
- (2) 広島サミット県民会議令和4年度収支予算（変更案）について（審議）
- (3) 県民会議事業の取組状況について（報告）
- (4) 交通総量抑制対策に係る取組について（報告）

3 閉会

【配付資料】

- 第1号議案 : 広島サミット県民会議令和4年度事業計画（変更案）
第2号議案 : 広島サミット県民会議令和4年度収支予算（変更案）
議案参考資料1 : 広島サミット県民会議令和4年度事業計画（当初）
議案参考資料2 : 広島サミット県民会議令和4年度収支予算（当初）
資料1 : 県民会議事業の取組状況
資料2-1 : G7広島サミット開催に伴う交通総量抑制対策に係る
広島サミット県民会議の取組について
資料2-2 : 交通総量抑制対策について
参考資料 : 県民会議事務局が実施する各事業の概要等について

第1号議案

広島サミット県民会議 令和4年度事業計画（変更案）

1 実施事業

（※アンダーラインは当初計画時から追加した事業）

区 分	事業名
(1) 開催支援	<ul style="list-style-type: none"> ・首脳会議の開催支援 ・配偶者プログラムの開催支援 ・首脳等の歓迎行事の開催 ・先遣隊歓迎レセプションの開催 ・地元産食材、地元産品等の活用推進 ・国際メディアセンターの設置支援 ・警備に関する調整 ・NGO支援 ・宿泊予約センターの設置 ・弁当供給センターの設置 ・政府関係者、報道関係者の移動支援 ・インフォメーションカウンターの設置 ・<u>学生ボランティアの募集</u> ・識別カードの発行 ・政府高官歓迎レセプションの開催 ・贈呈品の制作
(2) おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・サミットフォーラムの開催 ・プレイベントの開催 ・県内イベントや商業施設等でのPR ・花を活用したおもてなしの実施 ・クリーンアップ活動の促進 ・通訳案内士及び交通事業者向け研修の実施 ・カウントダウンボードの制作・設置 ・歓迎バナーの制作・設置 ・<u>電車・バス等へのラッピング</u> ・<u>Smile for Peace Project</u> ・サミットを応援する取組・協賛の募集
(3) 平和の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・首脳の平和プログラムに関する要望 ・サミットフォーラム（平和発信）の開催 ・<u>被爆楽器を活用した演奏会の開催</u> ・<u>海外メディアの招へい</u> ・被爆の実相・復興の歴史の発信 ・イベントでの情報発信

区 分	事業名
(4) 広島の魅力の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民会議主催プレスツアーの実施 ・ 外務省主催プレスツアーの実施 ・ (公財) フォーリンプレスセンターを活用したPR ・ 広島情報センター (仮称) の設置・運営 ・ <u>在外日本大使館における天皇誕生日レセプションでのPR</u> ・ 自治体連携イベントの募集 ・ 県民会議ロゴマークの制作 ・ SNSによる情報発信 ・ ホームページによる情報発信 ・ 広報紙によるPR ・ プレス用ハンドブックの制作 ・ <u>海外メディア等に向けた飲食店ガイドの制作</u> ・ G7広島サミットPR動画の制作 ・ ポスター等の掲示物の制作 ・ <u>サミットに合わせて来訪する関係者への魅力発信</u>
(5) ポストサミットを見据えた若者の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の参加機会の確保 ・ 県民とサミット参加国等の交流 ・ <u>G7広島サミットジュニア会議の開催</u> ・ <u>サミット塾の実施</u> ・ <u>サミット関係施設の見学</u> ・ サミットの開催を後世に伝える取組
(6) その他 (事務局運営等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民会議総会の運営 ・ 県民会議役員会の運営 ・ 県民会議部会の運営 ・ 市町連絡調整会議の運営 ・ 国への要望 ・ ドローン条例制定 ・ 寄附金の受付 ・ サミット波及効果の調査 ・ 記録誌の制作

2 スケジュール

別紙「広島サミット県民会議事務局が実施する事業及びスケジュール一覧」のとおり

区分	事業番号	事業名	事業内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
おもてなし	イベント等	17	サミットフォーラムの開催	サミットへの機運醸成のためのフォーラムを開催	開催に向けた準備			★開催(150日前)							
		18	プレイベントの開催	機運醸成のためのプレイベントを開催					開催に向けた準備			★開催(50日前)			
		19	県内イベントや商業施設等でのPR	行政事業イベントや民間イベントでのサミットPR	企画・委託契約ほか		随時出展								
	機運醸成	20	花を活用したおもてなしの実施	開催の周知と歓迎機運を高めるため、ガーデンピックの配布や歓迎ボードを設置	内容検討・委託契約ほか						花苗・ガーデンピック配布		ウェルカムボード設置		
		21	クリーンアップ活動の促進	住民参加型の清掃活動を促進するため、ノベルティを制作し、配付				実施方法検討		ノベルティ制作		清掃活動へのノベルティ提供・広報			
		22	通訳案内士及び交通事業者向け研修の実施	HIT事業と連携した通訳案内士及び交通事業者に向けたおもてなし向上のための研修						随時開催					
		23	カウントダウンボードの制作・設置	カウントダウンボードを制作し、主要な場所に設置・運用	工業高校への制作依頼		★10/31設置(第1弾:200日前)			以降随時設置					
		24	歓迎パナーの制作・設置	平和大通り等への歓迎パナーの制作・設置					内容検討ほか		歓迎パナー設置				
		25	電車・バス等へのラッピング	開催の周知と歓迎機運を高めるため、公共交通等の車体ラッピングの実施	交通事業者・学校との協議・調整ほか						★運行セレモニー				
		26	Smile for Peace Project	首脳等を歓迎する写真や平和を願うメッセージ写真を募集し、モザイクアートを制作				募集		★発信				★発信	
27	サミットを応援する取組・協賛の募集	企業・市民団体等からのサミットを応援する取組・協賛の募集	第1次募集(~9/27)		随時募集										
平和の発信	28	首脳等の平和プログラムに関する要望	実現に向けた外務省等への要望等	内容検討ほか		★要望活動		外務省等関係先との調整							
	29	サミットフォーラム(平和発信)の開催	平和の発信を目的としたサミットフォーラムの開催	開催に向けた準備				★開催(100日前)							
	30	被爆楽器を活用した演奏会の開催	被爆楽器を活用した演奏会の開催	開催に向けた準備				随時開催							
	31	海外メディアの招へい	平和の発信等を目的とした海外メディアの招へい		内容検討、招へい先との調整ほか				★随時実施		★随時実施				
	32	被爆の実相・復興の歴史の発信	ホームページ等を活用した発信	内容検討ほか		随時実施									
	33	イベントでの情報発信	平和関連イベントでのサミットのPR活動	内容検討ほか		随時実施									

区分	事業番号	事業名	事業内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
広島の魅力の発信	プレスツアー等	34	県民会議主催プレスツアーの実施	県民会議が主催でサミット関連のプレスツアーを実施			内容検討ほか			★開催		★開催	★開催		
		35	外務省主催プレスツアーの実施	外務省が実施するプレスツアーへの候補地等の提案				外務省との調整	外務省への提案・調整						
		36	(公財)フォーリンプレスセンターを活用したPR	(公財)フォーリンプレスセンターへのプレス向け情報の提供				内容検討ほか		情報提供					
		37	広島情報センター(仮称)の設置・運営	国際メディアセンターに設置する広島情報センター(仮称)の設置・運営				入札・契約、出展内容の調整ほか					設営	運営	
		38	在外日本大使館における天皇誕生日レセプションでのPR	在外日本大使館の天皇誕生日レセプションでのPR活動		外務省との調整		外務省や大使館との調整、出展物の準備ほか		開催					
	広報	応援・協賛	39	自治体連携イベントの募集	自治体主催のサミット応援に資する連携イベントの募集	第1次募集(～9/27)	随時募集								
			40	県民会議ロゴマークの制作	ロゴマークを制作	基町高校に依頼		★完成発表(10/13)							
		41	SNSによる情報発信	Facebook、Twitterの運用や開催200日前から開催前日までのカウントダウンの実施			★公式Twitter・Facebook運用開始(8/19)								
		42	ホームページによる情報発信	ホームページの制作・運用	内容検討ほか	★運用開始(9/14)									
		43	広報紙によるPR	県・広島市及び各市町の広報紙でのPR			随時実施								
		広報物制作	44	プレス用ハンドブックの制作	プレス用のハンドブックを制作				内容検討ほか		★配付				
			45	海外メディア等に向けた飲食店ガイドの制作	サミットに合わせて来訪される海外メディア等に向けた飲食店を紹介するガイドの制作				内容検討ほか		制作				★配布
			46	G7広島サミットPR動画の制作	サミット開催前に国内外で流すためのPR動画を制作	内容検討ほか		制作		メディアに提供し随時放映					
			47	ポスター等の掲示物の制作	ポスター、パネル、リーフレット、のぼり等を制作	内容検討ほか	制作	活用							
見据えた若者の参画	ポストサミットを	48	サミットに合わせて来訪する関係者への魅力発信	サミットに合わせて来訪するサミット関係者へ配布する記念品等の制作					制作内容等の検討	制作	宿泊施設との調整	配布			
		49	若者の参加機会の確保	空港出迎えや各種プログラムへの若者の参画促進		外務省との調整、プログラム等の検討、参加者の調整ほか									
		50	県民とサミット参加国等の交流	サミット参加国の首脳等の県内市町への訪問		外務省からの情報収集、プログラム等の検討、参加者の調整ほか									
		51	G7広島サミットジュニア会議の開催	高校生を対象としたジュニア版サミットの開催		外務省との調整、プログラム等の検討、参加者の調整ほか				事前プログラム			★開催		
		52	サミット塾の実施	学生等を対象としたサミット塾の実施		外務省との調整、プログラム等の検討、参加者の調整ほか			実施						
		53	サミット関係施設の見学	学生等を対象としたサミット開催後の関係施設の見学等			外務省との調整、プログラム等の検討、参加者の調整ほか								★実施
54	サミットの開催を後世に伝える取組	サミットの開催を後世に伝える取組							実施内容の検討ほか				入札・契約		

区分	事業番号	事業名	事業内容	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
その他	55	県民会議総会の運営	総会の開催				★開催 (11/1)		★開催 (1/17)		★開催				
	56	県民会議役員会の運営	役員会の開催		★書面開催 (9/21)		★開催 (11/1)		★開催 (1/17)		★開催				
	57	県民会議部会の運営	企画運営部会の開催		★開催 (9/7)	★開催 (10/18)		★開催 (11/29)	★開催 (12/22)	★開催	★開催		★開催		
	58	市町連絡調整会議の運営	市町連絡調整会議の開催	★開催 (8/4)	★開催 (9/13)	★開催 (10/20)		★開催 (12/1)	★開催 (12/26)		★開催	★開催		★開催	
	59	国への要望	外務省等への要望活動	内容検討ほか ----->		★要望 (10/5)		★施策提案(11/9) ★施策提案(11/15)							
	60	ドローン条例制定	会場及びサミット関連施設周辺でのドローン飛行禁止に係る条例制定	県警及び関係機関との調整 ----->				★条例素案(11/18) パブリックコメント(11/21~12/20)			2月県議会への上程		小型無人機の飛行規制		
	61	寄附金の受付	寄附金の受付		関係機関との調整 ----->	★受付開始 (10/19)									
	62	サミット波及効果の調査	サミット開催による波及効果の調査実施						内容検討 ----->		入札・契約、調査開始				
	63	記録誌の制作	サミット開催に係る記録誌の制作								構成案の検討・原稿作成 ----->				入札・契約

第2号議案

広島サミット県民会議 令和4年度収支予算（変更案）

1 収入の部

(単位：千円)

科 目	現計予算額	今回補正額	補正後予算額	摘 要
負担金	280,000	226,200	506,200	県・市負担金
諸収入	—	—	—	雑入
合計	280,000	226,200	506,200	

2 支出の部

(単位：千円)

科 目	現計予算額	今回補正額	補正後予算額	摘 要
事業費	232,600	201,200	433,800	開催支援、 事業推進経費
事務局費	47,400	25,000	72,400	事務局運営経費
合計	280,000	226,200	506,200	

広島サミット県民会議 令和4年度収支予算（変更案）の内訳

収入

(単位：千円)

科 目	項 目	補正後予算額
負担金	県負担金	253,100 (+113,100)
	市負担金	253,100 (+113,100)
諸収入	雑入	—
合 計		506,200 (+226,200)

支出

(単位：千円)

科 目	項 目	現計予算額	今回補正額	補正後予算額
事業費	開催支援	36,900	33,300	70,200
	おもてなし	43,900	73,000	116,900
	平和の発信	12,500	21,800	34,300
	広島の魅力の発信	128,700	53,700	182,400
	若者の参画	10,600	19,400	30,000
事務局費	事務局運営費・予備費	47,400	25,000	72,400
合 計		280,000	226,200	506,200

※G7広島サミットの開催準備を切れ目なく着実に進めるため、400,000千円を翌年度に繰り越す。

広島サミット県民会議 令和4年度事業計画（当初）

1 主要な取組について

(1) 開催支援

- ・外務省が企画する会議や首脳等が参加するプログラム等関連事業の企画提言及び実行支援
- ・宿泊予約センターの設置
- ・関係者・プレス移動支援の検討・準備
- ・地元食材及び地元産品等の利用提案書作成・提出 など

(2) おもてなし

- ・歓迎バナー等広報用ツールの制作・設置
- ・住民参加型おもてなし事業の実施
- ・プレイベントの開催
- ・メディアや各種イベント等を活用したサミットに関する情報発信 など

(3) 平和の発信

- ・平和をテーマにしたプレサミットイベントの開催
- ・国内外のメディアに向け被爆の実相や復興の歴史をテーマとしたセミナーを実施
- ・Web・SNSを活用した情報発信 など

(4) 広島の魅力の発信

- ・プレスツアーの実施
- ・Web・SNS、メディアや各種イベント等を活用した広島の情報発信
- ・国際メディアセンター内での展示準備
- ・地元食材及び地元産品等の利用提案書作成・提出 など

(5) ポストサミット

- ・国際理解・国際交流プログラムの実施 など

2 会議の開催予定について

総会・役員会 3回程度（令和4年7月、令和5年1月、令和5年3月）

3 今後のスケジュール

別紙「広島サミット開催に向けた今後のスケジュール概要（案）」のとおり

広島サミット県民会議 令和4年度収支予算（当初）

1 収入の部

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	摘 要
負担金	280,000	県・市負担金
諸収入		寄附金等
合計	280,000	

2 支出の部

（単位：千円）

科 目	本年度予算額	摘 要
事業費	232,600	開催支援、事業推進経費
事務局費	47,400	事務局運営経費
合計	280,000	

広島サミット県民会議 令和4年度収支予算内訳

収入

(単位：千円)

科目	項目	予算額
負担金	県負担金	140,000
	市負担金	140,000
諸収入	寄附金等	
合計		280,000

支出

(単位：千円)

科目	項目	主な取組	予算額	
事業費	開催支援	外務省が企画する会議や首脳等が参加するプログラム等関連事業の企画提言及び実行支援 宿泊予約センターの設置 関係者・プレス移動支援の検討・準備 地元食材及び地元産品等の利用提案書作成・提出等		
		計	36,900	
	おもてなし	歓迎バナー等広報用ツールの制作・設置 住民参加型おもてなし事業の実施 プレイベントの開催 メディアや各種イベント等を活用したサミットに関する情報発信 等		
		計	43,900	
	平和の発信	平和をテーマにしたプレサミットイベントの開催 国内外のメディアに向け被爆の実相や復興の歴史をテーマとしたセミナーを実施 Web・SNSを活用した情報発信 等		
		計	12,500	
	広島の魅力の発信	プレスツアーの実施 Web・SNS、メディアや各種イベント等を活用した広島の情報発信 国際メディアセンター内での展示準備 地元食材及び地元産品等の利用提案書作成・提出等		
		計	128,700	
	ポストサミット	国際理解・国際交流プログラムの実施 等		
		計	10,600	
	事務局費	事務局運営費	各種会議、事業関連、一般事務費	37,400
		予備費		10,000
計			47,400	
合計			280,000	

県民会議事業の 取組状況

令和5年1月
広島サミット県民会議



【これまで実施した事業・継続中の事業】（主に前回総会時以降の事業を掲載）

- 広島サミットPR動画の制作
- ポスター等の掲示物の制作
- G7広島サミットを応援する取組及び県民会議事業等への協賛の募集
- Smile for Peace Project
- サミット塾の実施 ～国際舞台で活躍する外交官と話そう！～

【今後実施予定の事業】

- クリーンアップ活動の促進
- 花を活用したおもてなしの実施
- G7広島サミットジュニア会議の開催

広島サミットPR動画の制作



G7サミットの広島開催を市民・県民等に周知するとともに、歓迎機運の醸成等を目的に、広島サミットPR動画を制作しました。今後、交通結節点や商業施設等のデジタルサイネージ、各種HP等で放映します。



【コンセプト】

不安定な国際・社会情勢において、身近な子供や高校生の不安な様子を示したうえで、広島の人々に息づく願いが、折鶴にのせて、世界へ羽ばたき、世界中に届くことで、平和な国際情勢につながっていくよう表現

ポスター等の掲示物の制作



G7広島サミットの開催を市民・県民等に周知するとともに、歓迎の機運を高めるため、第2弾となるPRポスターの他、サミットに関する説明パネルなどのツールを制作しました。ポスターは交通機関や商業施設等に配布し、パネルはイベント等で展示しています。また、第3弾のポスターを3月中に制作します。



【第2弾ポスター】

【コンセプト】
サミットに対する理解を深めていただくため、参加国や想定される課題等を文字やイラストで表現



【パネル】

G7広島サミットを応援する取組及び 県民会議事業等への協賛の募集



G7広島サミットの開催に向けて、全県的な取組を展開するため、企業・市民団体等が主体となって取り組む事業、県民会議主催事業や市町等との連携事業において活用する協賛品などの提供を募集しています。

【募集期間】 令和4年9月14日～令和5年3月31日

【取組実施期間】 令和4年9月14日～令和5年5月21日



(応援する取組：977件)

(令和5年1月13日時点)

分類	取組内容	認定件数
サミット応援イベントの実施	・サミット開催をPRするポップやのぼりを掲示 ・飲食店で広島県産食材を使用したサミット応援フェアを開催 等	85件
学校等における取組	・幼稚園において、G7参加国の挨拶の言葉を学ぶ活動を実施	22件
応援商品の販売	・おりづるペンG7特別仕様を販売 ・自社商品にロゴ入りステッカーを貼付 等	28件
独自ポスター・看板等の設置	・ミニのぼりの製作及び設置 ・特注横断幕の掲示 等	51件
県民会議公式ポスター・ロゴ等によるPR	・自社ホームページにロゴ及びリンクを掲載 ・事務所等に県民会議公式ポスターを掲示 ・県民会議公式PR動画のサイネージ投影	690件
その他PR（自社内での取組等）	・おもてなしの取組として清掃活動を実施 ・自社月報でのサミット紹介ページの作成 等	101件

(協賛：27件)

具体例

- ・バス及び路面電車における広告箇所を提供
- ・オリジナルデザインののぼり（50枚）及びミニのぼり（50個）の提供

Smile for Peace Project

G7広島サミットの歓迎機運を醸成するため、歓迎の気持ちや平和を願うヒロシマの思いをメッセージボードに掲げた写真を募集しています。今後、応募いただいた写真をモザイクアートにし、新聞へ掲載するとともに、各種イベントで展示します。

- 【募集内容】 歓迎の気持ちや平和を願うヒロシマの
思いをメッセージボードに掲げた写真
- 【募集期間】 令和4年11月19日～令和5年4月2日
- 【応募方法】 ぶんタッチ（中国新聞社のウェブサイト）
内の応募フォームより応募



<https://pro.form-mailer.jp/lp/1aa9b78c271213>

令和5年2月 中国新聞朝刊に掲載（令和4年12月31日まで応募分）

令和5年5月 中国新聞朝刊に掲載



【写真の例】

サミット塾の実施 ～国際舞台で活躍する外交官と話そう！～



今後の広島の担い手となる若者の国際感覚やチャレンジ精神を涵養するため、国際舞台で活躍する現役の外交官によるサミットや外交・国際問題をテーマにした講座等を開催しています。

- 1 対象者 県内の中学校・高等学校、高等専門学校の生徒
- 2 講師 外務省職員
- 3 時期 令和5年1月10日～ 順次実施
- 4 実施校 23校で予定

※開催日順

安芸南高等学校、舟入高等学校、井口台中学校、観音中学校、山陽女学園中等部・高等部、大野東中学校、高取北中学校、県立広島工業高等学校、宇品中学校、賀茂高等学校、広島商船高等専門学校、広島叡智学園中学校、大崎上島中学校、広島大学附属中学校、ノートルダム清心中学校、大門高等学校、呉工業高等専門学校、修道中学校、広島大学附属東雲中学校、広島中等教育学校、広島翔洋高等学校、武田高等学校、広島大学附属福山中・高等学校



参考：イチからわかる！サミット塾（平成27年度）



参考：安芸南高等学校での様子（1月10日実施）

クリーンアップ活動の促進



G7広島サミットの開催の周知や歓迎機運を高めるため、県・広島市及び広島商工会議所等と連携し、ノベルティグッズを制作・配付する等のクリーンアップ活動への支援を行います。

令和5年1月 ノベルティグッズ制作
令和5年2月～ 清掃活動主催者を通じた
ノベルティグッズの提供



ノベルティグッズ（イメージ）



清掃活動の様子

花を活用したおもてなしの実施

市民・県民の歓迎機運の醸成及びサミット開催の周知のため、事業者や地域団体など、市民・県民にも参加してもらい、県内の花壇等にガーデンピック及び広島市内中心部に歓迎ボードを設置します。

令和5年2月

市町等を経由してガーデンピック配布

広島市内の希望のあった小学校へ花の苗配布

3月

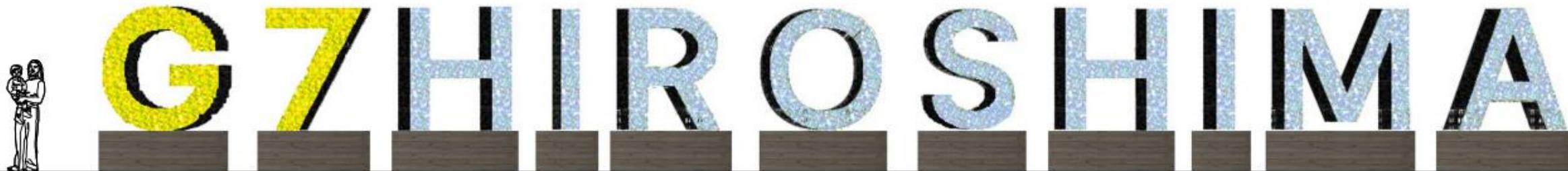
歓迎ボード設置

4月下旬～

歓迎ボードの花を小学生の育てた花に植替え



参考：ガーデンピック



G7広島サミットジュニア会議の開催



未来を担う若者が、国際的な諸課題やその解決に向けた取組などについて理解を深めるとともに、困難な課題にもチャレンジ精神を持って取り組む契機とするため、G7広島サミットジュニア会議を開催します。

- 1 テーマ 平和、持続可能性、多文化共生などを予定
- 2 対象者 県内在住の日本人（12人）
日本在住のG7各国の方（12人）
- 3 開催期間 令和5年3月27日～3月30日
- 4 応募要件 概ね15歳から18歳（高校生相当）など



参考：2016年青少年外相会合の様子

G 7 広島サミット開催に伴う交通総量抑制対策に係る 広島サミット県民会議の取組について

1 経緯

G 7 広島サミット開催に伴う一般交通への影響を最小限に抑えるための対策を協議することを目的として、12月15日、「G 7 広島サミット交通総量抑制対策推進会議」が開催され、交通総量の削減目標及び交通総量抑制対策の重点項目が決定された。また、別紙のとおり広島サミット県民会議に対して提案があった。

2 広島サミット県民会議の取組について

この提案を踏まえ、広島サミット県民会議としては、以下のとおり取組宣言を発出し、県民会議を挙げて交通総量抑制に取り組むこととしている。

【G 7 広島サミット開催に伴う交通総量抑制に関する広島サミット県民会議の取組宣言】

- G 7 広島サミット交通総量抑制対策推進会議で決定された交通総量の削減目標及び交通総量抑制対策の重点項目について、同推進会議と連携し、広く広報・啓発します。
- 広島サミット県民会議構成団体は、G 7 広島サミット交通総量抑制対策推進会議で決定された重点項目について、自主的に取り組みます。

【交通総量の削減目標】

令和5年5月18日（木）から22日（月）までの間、広島県内の高速道路・広島市中心部の一般道路において、交通量を50%削減する。

【交通総量抑制対策の重点項目】

次の点に重点を置いて、対策を推進する。

- マイカー利用の自粛
- 業務用車両の運行調整
- 行事・催事の日程変更

3 今後の予定

今後開催される第2回及び第3回「G 7 広島サミット交通総量抑制対策推進会議」において、各機関・団体による取組の検討状況・推進状況の共有、及び想定される影響・課題の共有、対策の検討が行われることとなっているため、構成団体の自主的な取組について、照会させていただくことを予定している。

4 参考資料

- ・「G 7 広島サミット交通総量抑制対策推進会議」からの提案書

令和4年12月15日

広島サミット県民会議 御中

G7広島サミット
交通総量抑制対策推進会議

G7広島サミットに伴う交通総量抑制対策の推進について（提案）

当会議では、G7広島サミット開催に伴う交通規制による一般交通への影響を最小限に抑えるため、次の方針に基づき、交通総量抑制対策を推進することといたしました。

【交通総量の削減目標】

令和5年5月18日（木）から22日（月）までの間、広島県内の高速道路・広島市中心部の一般道路において、交通量を50%削減する。

【交通総量抑制対策の重点項目】

次の点に重点を置いて、対策を推進する。

- マイカー利用の自粛
- 業務用車両の運行調整
- 行事・催事の日程変更

交通総量抑制対策は、G7広島サミットの安全、安心で円滑な開催に資するものであり、また、県民一人一人に主体的に取り組んでいただくことができる「おもてなし」の一環であると考えております。

つきましては、貴会議におかれましても、交通総量抑制対策の必要性を御理解いただき、当会議と連携しつつ、交通総量抑制に向けた取組を実施していただけますよう、御提案申し上げます。

G7広島サミットの成功に向け、「オール広島」として交通総量抑制対策を推進すべく、御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

交通総量抑制対策について

【目次】

1 交通総量抑制対策

- 交通規制のイメージ
- 交通規制により想定される影響
- 「交通総量抑制対策」とは

2 交通総量抑制対策の削減目標・重点項目・取組の検討

- 目標の対象期間
- 目標の対象範囲
- 目標数値の考え方
- 交通総量抑制対策の重点項目
- 過去のサミットにおける取組事例
- 具体的な取組の検討に係る方針

交通規制のイメージ

※ 誘致時の資料等に基づく想定

高速道路

- 広島空港や岩国錦帯橋空港とグランドプリンスホテル広島の間を陸路で移動するためには、**高速道路の交通規制**が必要。
- 各国首脳等の来日・離日時には、**交通規制が長時間に及ぶ可能性**。



影響：
広島県内を通過する東西交通の一部が遮断される。

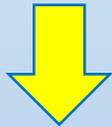


交通規制のイメージ

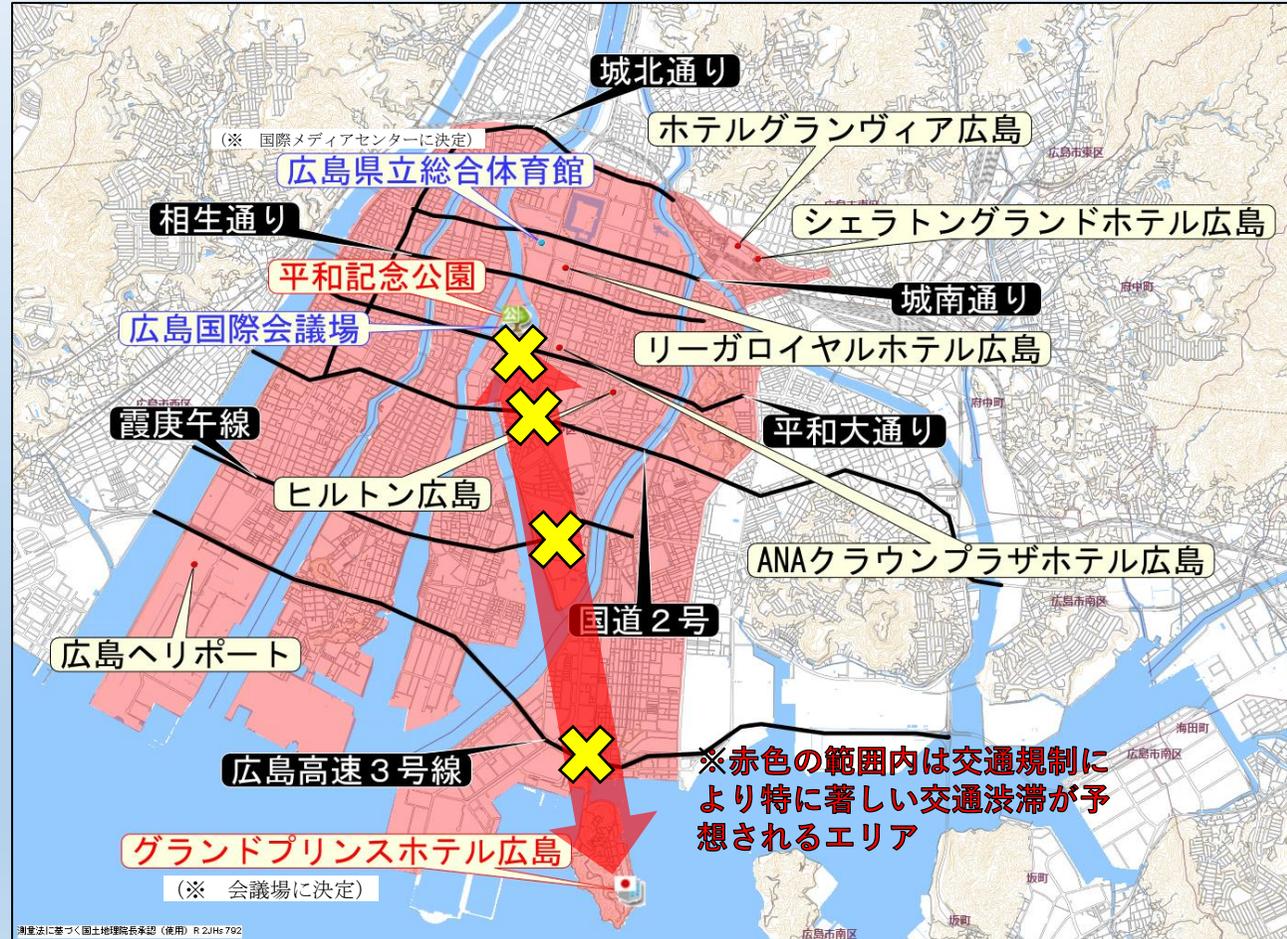
※ 誘致時の資料等に基づく想定

一般道路(広島市中心部)

○ グランドプリンスホテル広島と平和記念公園の間を移動する場合、**広島市中心部を南北に走る一般道路の交通規制**が必要。



影響：
広島市内の東西交通が困難となる。



交通規制により想定される影響

大規模な交通規制により、広島県内の一部区間の交通が困難に

迂回路に交通量が集中

交通量のパンク
(著しい渋滞の発生)



(イメージ)平成30年7月豪雨の際の国道2号

いつもどおりに
配送ができない!

救急車が来ない!

各国の政府関係者が
会場に着かない!

企業活動

一般市民の日常生活

サミット日程の円滑な進行

大きな影響が及ぶおそれ

「交通総量抑制対策」とは

交通規制による影響を最小限に抑えるためには、
交通量全体を抑制する必要



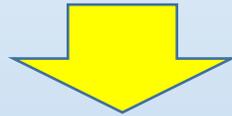
そのためには、**事前に対策を講じて**、
サミット開催時期における混乱を防ぐことが重要

幅広い分野における**「交通総量抑制対策」**が
必要不可欠

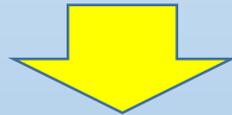
目標の対象期間

交通規制の基本方針：

各国首脳等の安全かつ円滑な移動を確保するため、
その移動ルートにおいて交通規制を実施



サミット開催に伴う各国首脳等の移動は、
サミット開催期間中に限られない。(来日・離日時)



過去のサミットを踏まえ…

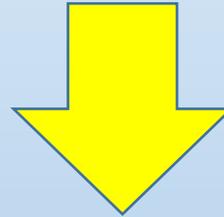
サミット開催期間に前後1日を加えた

令和5年5月18日(木)～22日(月)の5日間

目標の対象範囲

交通総量抑制が必要となるのは…

- 交通規制が行われる路線
- 交通規制により影響を受ける路線
(通行できなくなる路線, 迂回路)

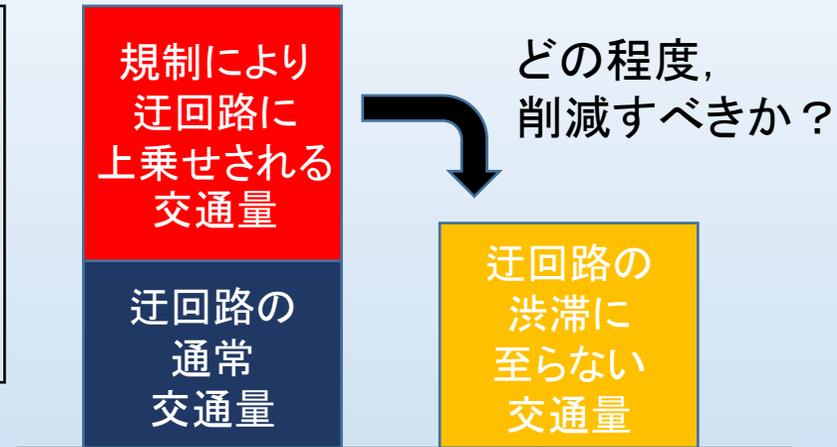


現時点で、サミットでの利用が
想定される施設の所在地を踏まえ…

広島県内の高速道路
広島市中心部の一般道路

目標数値の考え方

交通規制により通行できなくなる交通量が、
迂回路に集中した場合に、
迂回路の交通量がパンクしないようにするためには、
どの程度、交通量を抑えればよいか？



誘致時の資料等に基づき、

広島空港～グランドプリンスホテル広島
※ 会議場に決定

グランドプリンスホテル広島～平和記念公園
※ 会議場に決定

の移動を想定して、過去の交通量に基づいて試算をすると…

交通量を **50%** 削減する必要

交通総量抑制対策の重点項目

次の3点に重点を置いて、対策を推進していく。

マイカー利用の自粛

業務用車両の運行調整

行事・催事の日程変更



過去のサミットにおける取組事例

【各分野共通】

- 職員の休暇取得, 通勤時の公共交通機関利用や相乗りの促進
- 業務用車両(社用車等を含む。)の利用抑制
- 参加・加盟団体や訪問者等への呼びかけ
(ポスター, チラシ, ホームページ, SNS, メール 等)
- 業務予定(株主総会や催事等を含む。)の時期の変更

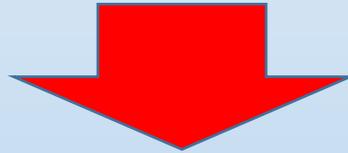
【個別分野】

行政・ 学校関係	資源ゴミ, 粗大ゴミの 収集の日程調整	運送関係	指定配達や時間帯配達等の中止
	大学の一部休講		運送時期の前倒し, 運送車両の時間・ ルート変更
交通関係	路線バス, 高速バスの運休, 路線変更	集客施設 関係	開催期間中の休業・イベントの自粛
医療関係	通院等されている方への交通 情報の提供		駐車場の利用制限等

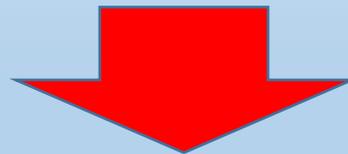
※ 最近の大規模行事に伴う交通規制の際は, 【テレワーク】【オンライン授業】といった取組もみられる。

具体的な取組の検討に係る方針

過去のサミットにおける取組事例を参考にして、
各機関・団体において、取組の具体的な内容を検討



今後、可能なものから、順次、取組を実行



第2回において、検討状況・推進状況を共有

県民会議事務局が実施する各事業の概要等について

	ページ
広島サミット関連事業の概要	1
宿泊予約センターの設置について	3
弁当供給センターの設置について	4
学生ボランティアの募集について	5
サミットフォーラム（150 日前節目事業）の開催について	6
サミット開催 50 日前ウィークイベントの実施について	7
花を活用したおもてなしの実施について	8
通訳案内士及び交通事業者向け研修について	9
カウントダウンボードの制作・設置について	10
電車・バス等へのラッピングについて	11
Smile for Peace Project について	12
サミットを応援する取組・協賛等の募集について	13
海外メディアの招へいについて	15
県民会議主催プレスツアーについて	16
県民会議ホームページ・SNS の運用について	17
G 7 広島サミット PR 動画の制作について	18
ポスター等の掲示物の制作について	19
サミットに合わせて来訪する関係者への魅力発信について	21
G 7 広島サミットジュニア会議の実施について	22
国際舞台で活躍する外交官と話そう！サミット塾の実施について	23

広島サミット関連事業の概要

R5.1.17 広島サミット県民会議事務局

《基本方針》	《取組概要》	《事業内容》	《実施主体》	《12月補正予算まで》	《R5当初予算》	
1 安全・安心で円滑なサミット開催支援	開催支援	・首脳会議・配偶者プログラムの開催支援 ・先遣隊歓迎レセプションの開催 ・地元産食材、地元産品等の活用推進 ・宿泊予約センター・弁当供給センターの設置 ・政府関係者、報道関係者の移動支援 ・インフォメーションカウンターの設置 ・識別カードの発行 等	県民会議事務局	70,200千円	調整中	
		防災・危機管理	・会場等における消防特別警戒の実施	県		7,351千円
			・平和記念公園の自主警備等	市		—
		公共インフラ	・各国代表団の移動ルートとなる可能性のある県市管理道路の舗装や、岸壁の修繕等	県		4,775,000千円
			・道路の巡視体制強化	市		—
		保健・医療	・救急・災害医療体制の確保	県		—
			・感染症・衛生対策の実施	市		—
			・食品衛生指導対策の実施	県		9,841千円
			・県立広島病院における救急医療体制の整備	市		3,970千円
			・水道施設の安全確保	県		39,422千円
・警察部隊待機場所に設置する仮設トイレのし尿収集運搬	市		—			
警備	・警備・交通対策等に必要な資機材の整備等	県	1,212,490千円 【債務】302,755千円			
小計				8,702,374千円	調整中	
2 おもてなし	歓迎機運の醸成	・サミットフォーラム・プレイベントの開催 ・花を活用したおもてなしの実施 ・クリーンアップ活動の促進 ・通訳案内士及び交通事業者向け研修の実施 ・カウンタダウンボードや歓迎バナー等の制作・設置 ・電車・バス等へのラッピング ・サミットを応援する取組・協賛の募集 等	県民会議事務局	116,900千円	調整中	
		・「GREEN SEA 瀬戸内・ひろしまプラットフォーム」と連携した元宇品等の海岸清掃の実施	県	3,800千円		
		・「ごみゼロ・クリーンキャンペーン」の実施	市	2,100千円		
		・花壇及びプランターの花き取替	市	—		
		・海外からの賓客に対するおもてなし	市	—		
	関係施設等の改修・修繕	・宮島、中央森林公園（三景園）、もみのき森林公園等の自然公園施設の修繕	県	73,711千円 【債務】42,860千円		
		・県立総合体育館のトイレ改修及び照明器具のLED化	県	343,003千円		
		・縮景園における植栽の補植・剪定や園路補修等	県	12,307千円		
		・広島国際会議場の改修 ・平和記念公園の環境整備 ・観光サインの更新	市	128,500千円		
	事業者支援	・観光施設の受入環境整備に対する支援	県	550,000千円		
・飲食事業者の高機能換気設備導入や洋式トイレ化、メニューの英語表記等を支援		県	570,000千円			
小計				1,800,321千円	調整中	
3 平和の発信	平和の発信	・首脳の平和プログラムに関する要望 ・サミットフォーラム（平和発信）の開催 ・被爆楽器を活用した演奏会の開催 ・海外メディアの招へい ・被爆の実相・復興の歴史の発信 等	県民会議事務局	34,300千円	調整中	
		・広島サミットを契機としたWEB等による情報発信強化や多様な主体が参加する平和推進イベントの開催 ・2023世界平和経済人会議ひろしまを、G7広島サミットに先立ち令和5年4月に開催し、ビジネスによる国際平和の重要性を発信 ・G7広島サミットに向けた提言書「核兵器なき持続可能な未来の実現を目指して」（仮）の作成 ・「ひろしまレポート」「広島島の復興の歩み」等を活用した発信強化 等	県	40,600千円		
		・平和記念資料館の発信力の強化 ・被爆建物・被爆樹木めぐりの開催 ・被爆体験伝承者による伝承講話の実施 ・企画展「平和記念都市広島誕生（仮称）」の開催 ・平和関連施設等を巡るモニターツアー等の造成 等	市	4,798千円		
		小計		74,900千円		調整中

4 広島の魅力の発信	魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> ・県民会議主催プレスツアーの実施 ・（公財）フナーリンプレスセンターを活用したPR ・広島情報センター（仮称）の設置・運営 ・在外日本大使館における天皇誕生日レセプションでのPR ・県民会議ロゴマークの制作 ・SNS・ホームページによる情報発信 ・プレス用ハンドブックの制作 ・海外メディア等に向けた飲食店ガイドの制作 ・G7広島サミットPR動画の制作 ・サミットと合わせて来訪する関係者への魅力発信 等 	県民会議事務局	182,400千円	調整中
	観光	・国内外へ向けた地域の魅力発信	県	156,600千円 【債務】 20,000千円	
		・県産品の魅力発信	県	60,000千円	
		・広島サミットを契機とした観光客のV字回復に向けたプロモーションの実施 等	県	—	
	食の魅力 地元産品の活用	・観光案内所における多言語対応強化	市	—	
		・広島駅周辺地区の水辺空間でのイベント開催			
	文化・芸術	・広島ゆかりの映画のメディア向け上映会等の開催	市	—	
		・MITTEの誘致推進			
産業	・マンホールカード作成 等	県	—		
環境・エネルギー	・カーボンリサイクル関連技術の研究開発拠点の情報発信 等	県	—		
小計				581,086千円	調整中

5 若者の参画	若者の参画 ポストサミット	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の参加機会の確保 ・G7広島サミットジュニア会議の開催 ・サミット塾の実施 等 	県民会議事務局	30,000千円	調整中
		・県立高校で、平和、産業等をテーマにした探究活動を国際交流において実施	県	—	
		・G7広島サミットを教材とした国際理解教育の推進	市	—	
		・県立図書館にサミットのテーマとなる様々な分野や参加国に関する図書を整備した特設コーナーの開設等	県	6,629千円	
		・幼小中高の児童生徒や大学生を対象としたサミット関連事業への協力要請	県	—	
小計				36,629千円	調整中

事務局運営費等	事務局の運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・県民会議各種会議の運営 ・サミット開催による波及効果の調査実施 ・記録誌の制作 等 	県民会議事務局	72,400千円	調整中
小計				72,400千円	

県民会議事務局実施 (①)	506,200千円	
県実施 (②)	8,042,840千円	調整中
市実施 (③)	2,723,468千円	調整中
合計 (①+②+③)	11,267,710千円	調整中

令和5年1月17日
開催支援課

宿泊予約センターの設置について

1 目的

G7広島サミット開催時におけるサミット関係者(各国代表団、日本政府関係者、報道関係者、警備関係者等)に対し、宿泊の安定的かつ効率的な確保を図り、宿泊希望者への円滑かつ適切な申込・配宿・精算や宿泊者・宿泊施設へのサービス提供などを行う。

2 事業の概要

上記目的達成のため、広島サミット県民会議が公認する「G7広島サミット宿泊予約センター」を設置する。

(1) 宿泊予約センター設置運営事業者の公募

県民会議との協定の下、自主的に活動していただく事業者を公募型プロポーザルにより募集・選定した。

令和4年7月28日 公告

8月5日 参加資格確認申請書提出期限

8月12日 企画提案書提出期限

8月16日 事業者候補者の選定

8月25日 協定締結

9月1日 宿泊予約センター開設、業務取扱開始

(2) 宿泊予約センター設置運営事業者の概要

① 事業者名

広島サミット宿泊予約センターコンソーシアム

(株)JTB広島支店、近畿日本ツーリスト(株)広島支店、(株)日本旅行広島支店、東武トップツアーズ(株)広島支店の4社によるコンソーシアム)

② センター設置場所

広島市中区紙屋町二丁目2番2号 紙屋町ビル6階

3 スケジュール

令和4年	9月	宿泊施設に対する説明会開催(13日~22日) (広島市、呉市、福山市、三次市で計8回開催) (163施設が参加)
		外務省、県警等との連携開始
	10月	宿泊施設実態調査票・提供客室回答書の取りまとめ 各宿泊施設との調整開始
	12月	宿泊予約申込要項ホームページ公開
令和5年	1月頃	宿泊予約受付開始予定

弁当供給センターの設置について

1 目的

G 7 広島サミット開催に際し、広島市を中心に県内各地に配置される警察関係者、消防・医療・現地スタッフ等に対し、安全で安心な食事を大量に継続して供給できる体制を確保する。

2 事業の概要

上記目的達成のため、広島サミット県民会議が公認する「G 7 広島サミット弁当供給センター」を設置する。

(1) 業務内容

弁当の受注、精算、弁当の製造・配送及び空容器等の回収の手配

(2) 運営事業者の募集

県民会議との協定の下、弁当供給センター設置運営業務を行う事業者を公募型プロポーザルにより募集・選定する。

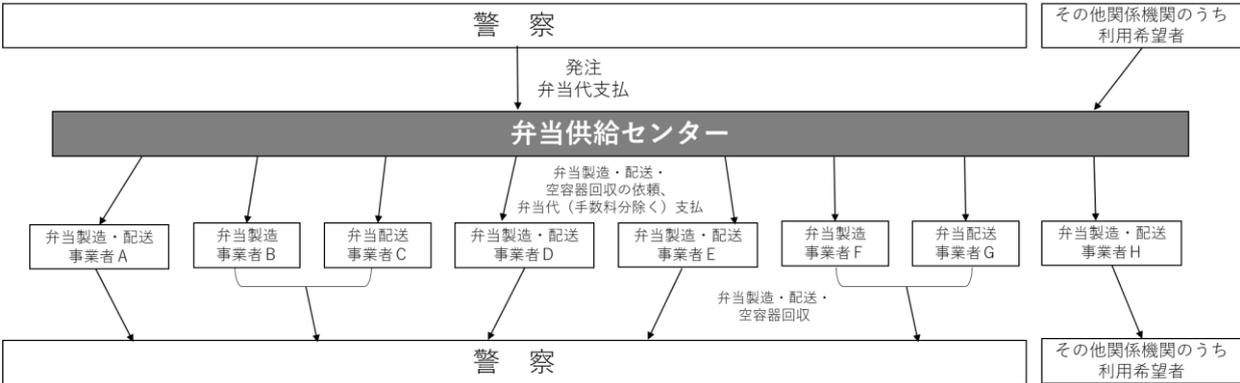
(3) 利用者

警察関係者、その他利用を希望する関係者（消防、医療、現地スタッフ等を想定）

3 スケジュール

令和 4 年 9 月～	県警、県・広島市の関係課との協議
1 2 月	公募型プロポーザル公告
令和 5 年 1 月	事業者候補者の選定・協定締結
	弁当供給センターに参画する弁当製造事業者に対する食品衛生状況の確認
3 月末頃	弁当供給開始

【イメージ図】



令和5年1月17日
開催支援課

学生ボランティアの募集について

1 目的

広島を訪れるサミット関係者やイベント参加者を迎える際のおもてなし対応やサミットに関わるイベント会場等で通訳などを行うボランティアについて、若者がサミットに関わる機会を提供する観点から、大学生等を対象に募集する。

2 事業の概要

(1) 対象者

広島サミット県民会議の会員である大学、短期大学及び高等専門学校に在籍している学生（※高等専門学校の学生については、4年次以上）

(2) 募集方法

① 広島サミット協力大学協議会所属大学等（24校※）

協議会に対して、協議会全体での人数を指定して推薦を依頼

※大学協議会所属大学（21校）に加えて、運営母体が同じ比治山短期大学、広島文化学園短期大学及び安田女子短期大学については、協議会を通じて推薦を依頼する。

② 短期大学・高等専門学校（3校）

各会員学校に対して、人数を指定して推薦を依頼

⇒推薦のあった学生を登録した上で、活動の詳細が固まり次第、参加可能な登録者に対し依頼を行う。

(3) 活動内容

① おもてなしボランティア（70人程度）

活動場所：① イベント会場等

② インフォメーションカウンター及び広島情報センター

活動内容：① イベント対応

② サミット関係者（報道関係者等）に対するおもてなし（観光案内、移動支援、広島県の情報発信など）

活動期間：① 令和5年2月～5月

② 令和5年5月15日～21日

必要スキル：特になし

② 通訳ボランティア（50人程度）

活動場所：サミット関連のイベント会場等

活動内容：イベント等での通訳、会話補助等

活動期間：令和5年2月～5月

必要スキル：TOEIC785点又は英検準一級相当

3 スケジュール

11月24日	広島サミット協力大学協議会等へ学生の推薦を依頼
12月23日	学生推薦
1月	学生ボランティア決定
2月	結団式・合同研修
2月頃～5月	活動期間（活動の詳細が固まり次第、登録者に対し依頼を行う）
5月	サミット開催（19日～21日）
6月	解散式

令和5年1月17日
事業推進課

サミットフォーラム（150日前節目事業）の開催について

1 目的

G7広島サミットを安全、安心かつ円滑に開催し、成功に導くためには、開催地である広島市民・県民のサミットへの理解、協力が不可欠であり、これらはサミット開催に向けたおもてなし・歓迎機運醸成の土台となるものである。

このため、節目の時期を捉え、G7サミットの内容や重要性に加えて、広島開催の意義等について市民・県民が理解を深めるためのイベントを開催した。

2 事業の概要

- (1) 時期 令和4年12月6日（火）13時30分から16時30分
（※150日前：令和4年12月20日）
- (2) 場所 広島国際会議場フェニックスホール（広島市中区中島町 1-5）
- (3) 開会挨拶 広島サミット県民会議会長 湯崎 英彦
- (4) 基調講演
 - ・講師 池上 彰氏
（ジャーナリスト
名城大学教授、東京工業大学特命教授など
元NHK所属）
 - ・テーマ 「広島サミットの役割と意義」
- (5) パネルディスカッション
 - ・パネラー
池上 彰 氏
ファン・デル・ドゥース瑠璃 氏（広島大学平和センター准教授）
宇田 貴美 氏（一般社団法人福山青年会議所直前理事長）
西尾 新 氏（一般社団法人志摩市観光協会会長）
 - ・コーディネーター
金崎 由美 氏（中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター長）
 - ・テーマ 「広島でサミットが開催される意義」「企業や地域への波及効果」
など
- (6) 参加状況
約1,300名（申込者数：2,514名）
- (7) 概要
 - ・池上氏は、サミットの歴史等を説明後「原爆投下時、広島に何が起きたかを見せる絶好のチャンス」と強調
 - ・パネルディスカッションでは、聴講者に自ら主体的に関わることや被爆の実態と広島の豊かさの発信を呼びかけた。
- (8) その他
12月20日（火）中国新聞朝刊に採録記事及び県民会議ホームページに動画公開

令和5年1月17日
事業推進課

サミット開催 50 日前ウィークイベントの実施について

1 目的

開催 50 日前を基軸に複数イベントを行うことにより、市民・県民がサミット開催地である広島に誇りを持ち、「オール広島」の一員として、開催に協力できるよう歓迎・開催機運の醸成を図る。

2 事業の概要

- (1) 時 期 令和5年3月
(※50日前：令和5年3月30日)
- (2) 場 所 広島市内
- (3) 内 容
 - ・県内で実施される各種イベントやプロスポーツチーム主催ゲームでのサミットPRブース出展等
 - ・G7 ウェルカムコンサートの実施や地元産品などの特産品の販売
 - ・県内の伝統芸能などによるステージやトークショー

3 スケジュール

令和5年 1月～	事業調整
2月	開催周知
3月	事業実施

花を活用したおもてなしの実施について

1 目的

事業者や地域団体など、市民・県民の協力も得て、県内の花壇等にガーデンピック及び広島市内中心部に歓迎ボードを設置することにより、市民・県民の機運醸成及びサミットの開催を周知する。

2 事業の概要

(1) ガーデンピックの制作・配布

県内全域の花壇等に設置してもらうため、開催を周知するロゴ入りのガーデンピックを制作し、配布する。

(2) 歓迎ボードの製作・設置

広島市内の人通りの多い箇所に歓迎ボードを設置するとともに、歓迎ボードに広島市内（希望のあった30校程度を予定）の小学生等が育てた花を活用する。

※設置場所は、平和記念公園・基町クレド・広島市役所・広島県庁のいずれか1ヵ所を想定

3 スケジュール

令和5年2月	ガーデンピックの配布開始 小学校へ花の苗の配布
3月下旬	歓迎ボードの設置（サミット終了後まで）
4月下旬	歓迎ボードの花を小学生の育てた花に植え替え

【参考：ガーデンピックイメージ】



【参考：歓迎ボードイメージ】



通訳案内士及び交通事業者向け研修について

1 目的

サミットの概要や案内に役立つ英会話などの情報を得られる環境を整えることで、来訪するサミット関係者及び訪日外国人の受入態勢を整える。

2 事業の概要

(1) 通訳案内士（全国通訳案内士、地域通訳案内士）研修

地域通訳案内士フォローアップ研修等の HIT 事業と連携し、通訳案内士の研修における情報提供

(2) 交通事業者に対する情報提供

① 必要な情報提供と個別研修

- ・サミットの概要やオンデマンド配信について周知
- ・サミットの概要や英会話など、事業者側の希望に応じた個別研修を実施

② オンデマンド配信

サミットの概要（開催概要、広島開催の意義など）や、案内に役立つ英会話の表現などを動画にまとめ、インターネット上で期間を定めてオンデマンド配信

③ コミュニケーションツール

英語によるコミュニケーションシートを作成し、配布

3 今後のスケジュール

1月 委託事業者決定、地域通訳案内士フォローアップ研修等

2月 オンデマンド配信用動画等の作成

3月 オンデマンド用動画の配信

コミュニケーションシートの配布

※事業者決定の後、希望に応じて、随時、個別研修を実施

カウントダウンボードの制作・設置について

1 目的

G7広島サミット開催の周知を図るとともに、地元の歓迎機運を高めることを目的として、県内の交通結節点等にカウントダウンボードを設置し、来訪者や市民・県民等の目に触れる場所で開催までのカウントダウンを行う。

また、主な交通結節点等へ設置するカウントダウンボードの制作にあたっては、県内の高校でデザインや工業技術を学ぶ生徒にも参加してもらい、若い世代にサミットへの関心を持っていただくとともに、歓迎機運の醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 高校生による自主製作 7校 (計7台)

- ① 仕様等 目安：高さ 180cm×幅 90cm×奥行 60cm
- ② 製作高校及び設置場所

	製作	設置場所	設置日 (予定含む)
ア	県立広島工業高等学校	広島空港	R4. 12. 11
イ	県立宮島工業高等学校	宮島口旅客ターミナル	R4. 12. 18
ウ	市立広島工業高等学校	広島バスセンター	R4. 12. 23
エ	県立福山工業高等学校	JR 福山駅	R5. 2. 8 予定
オ	県立府中東高等学校	府中市役所	R5. 2. 8 予定
カ	県立総合技術高等学校	JR 三原駅	R5. 2. 8 予定
キ	県立呉工業高等学校	大和ミュージアム	R5. 2. 8 予定

- ③ 設置時期 エ～キは 100 日前 (2/8) を目途に製作を依頼
完成後は順次設置～令和5年6月中撤去 (予定)

④ その他

設置時には除幕式を実施予定。

学校の協力を得て、製作過程についても、取材対応を行う。

(2) デジタルサイネージ 15 台

- ① 仕様等 50 インチ縦型
- ② 設置場所 広島県庁、広島市役所、区役所、宇品旅客ターミナル、国際会議場 等
- ③ 設置期間 令和5年1月～令和5年5月

(3) 卓上型 110 個

- ① 仕様等 卓上型の日めくりボード
- ② 設置場所 県民会議構成団体事務所
- ③ 設置期間 令和5年1月～令和5年5月

3 スケジュール

12月～ 県内高校生による自主製作カウントダウンボードを順次設置

1月～ デジタルサイネージのカウントダウンボードを順次設置
卓上型日めくりカウントダウンボードを順次設置

電車・バス等へのラッピングについて

1 目的

G7広島サミット開催に向け、開催の周知と歓迎機運を高めることを目的として、路面電車及び県内を運行するバス、タクシーの車体ラッピングを行うとともに、広島港宇品旅客ターミナル等を発着する旅客船等の船体ラッピングを行う。

また、路面電車及びバスのラッピングデザインについては、県内の高校に参加してもらい、若い世代にサミットへの関心を持っていただくとともに、歓迎機運の醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 車体のラッピング

① 路面電車

対象車両：1台（5両編成）

運行会社：広島電鉄

運行当初は2号線（広島駅～宮島線）、その後1号線（広島駅～広島港）への切り替えを行う予定。

② バス

対象車両：7台

運行会社：広島電鉄(株)、広島バス(株)、広島交通(株)、中国ジェイアールバス(株)、芸陽バス(株)、(株)フォーブル、エイチ・ディー西広島(株)

③ タクシー

対象車両：広島市内を運行するタクシー会社を中心に200台

④ 旅客船等

対象船舶：広島港宇品旅客ターミナル、宮島棧橋旅客ターミナルに発着する旅客船を中心に、37隻を目安に調整中。

(2) デザイン

① 路面電車・バス

県内の高校（県立、広島市立、私立の計13校）においてデザイン制作（路面電車：6校、バス：7校）

② タクシー・旅客船等

開催日程、県民会議のロゴ、政府作成予定のロゴマークを配置

3 スケジュール

(1) 路面電車・バス

12月上旬～ 高校においてデザイン制作

1月上旬 車両へのラッピング開始

2月上旬 出発式、運行開始

(2) タクシー・旅客船等

12月下旬～ ラッピング資材制作

1月中旬 車両へラッピング貼り付け、運行（運航）開始

4 その他

車内への広告掲示等についても、各社の協力を得て実施

① 路面電車 電停広告、車内広告への協力（調整中）

② バス バス停広告、車内広告への協力（調整中）

③ タクシー ステッカーをタクシー車内へ貼付（調整中）

Smile for Peace Project について

1 目的

市民・県民を中心に歓迎の気持ちや平和を願うヒロシマの思いをメッセージボードに掲げた写真を募集 (Smile for Peace Project) するとともに、応募写真をモザイクアートにし、新聞掲載や、県民会議が主催・参加するイベントで展示することにより、G7サミットで広島を訪れる首脳等を歓迎する広島市民・県民の機運醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 募集内容

歓迎の気持ちや平和を願うヒロシマの思いをメッセージボードに掲げた写真

※「広島らしさ」「広島の魅力」「平和のイメージ」が伝わる写真に、歓迎メッセージを加工して加えた画像も可

例：「折り鶴」「ハト」「広島の風景」
「家族や友人との団らん」など



(写真の例)

(2) 募集期間

令和4年11月19日～令和5年4月2日 (予定)

※一次締め切り：令和4年12月31日 (2月の中国新聞朝刊に掲載予定)

※二次締め切り：令和5年4月2日 (予定) (5月の中国新聞朝刊に掲載予定)

(3) ちゅーぴー子どもウェブ「ぶんタッチ」(※) との連携

中国新聞社が運営する子供向けのウェブサイトと連携した取組とし、サミットについて学べるページを作成

(4) 応募方法

ぶんタッチ (中国新聞社のウェブサイト) 内の応募フォームより応募

<https://pro.form-mailer.jp/lp/1aa9b78c271213>



3 スケジュール

令和4年12月31日	一次募集終了
令和5年2月	中国新聞朝刊に掲載予定
4月2日	二次募集終了
5月	中国新聞朝刊に掲載予定

サミットを応援する取組・協賛等の募集について

1 目的

G7広島サミット開催に向けて、企業・市民団体等がサミットに絡めて実施するG7広島サミットを応援する取組や、県民会議事業等への協賛を募集するとともに、県内で行われるイベントにブース出展し、サミット開催をPRすることにより、オール広島でのおもてなし・歓迎機運を醸成し、サミットに対する理解を促進する。

2 事業の概要

(1) 事業の概要

① G7広島サミットを応援する取組

企業や市民団体等が主体となって実施する、県民会議が基本方針として掲げる5つの柱に関連する取組を募集

※5つの柱とは、「開催支援」、「おもてなし」、「平和の発信」、「広島の魅力の発信」、「ポストサミットを見据えた若者の参画」

② 県民会議事業等への協賛

県民会議主催事業や広島県や市町等との連携事業において活用する物品や役務、技術等の提供を通して協力する取組を募集

応援する取組 (例)	協賛 (例)
<ul style="list-style-type: none">各団体等が主催するイベント等において、県民会議事務局が作成したチラシ・ノベルティの配布・PRポスターの掲示各団体等が作成するチラシ等にサミットのロゴを使用することやサミットをPRする文言を記載サミット応援フェア・セール等の開催サミット応援商品の開発、販売 (売上金の一部を県民会議へ寄附等) など	<ul style="list-style-type: none">サミットPRポスター、チラシなどの印刷各種ノベルティの製作サミット関連事業への役務・物品・技術等の提供又は貸与サミット関連事業参加者へのグッズ等の提供 など

※①応援・②協賛として認定した事業については、県民会議ロゴの使用許可、HP等での広報協力を行うほか、サミット終了後に記念事業として、記録誌に掲載予定。

③ 連携イベントでのPR

県内で行われるイベントと連携し、パネル展示、資料配布等を行うことにより、サミットの概要やサミットが広島で開催されることの意義等を、市民・県民へ周知する。

ア 県内自治体等が実施するイベントへの出展

イ 民間主催の大型イベントへの出展

ウ 商業施設等でのイベントの開催や出展

(2) 応募状況 (1月13日現在)

令和4年9月14日から募集を開始し、認定し、公開することに同意がある取組を県民会議ホームページにて公開中。取組が浸透し、件数が急増中。

- ① G7広島サミットを応援する取組 977件
- ② 県民会議事業等への協賛 35件応募
- ③ 連携イベント 102件
- ④ 出展イベント
 - ア 県内自治体等が実施するイベント
 - ・第10回平和首長会議総会 (10/19~20)
 - ・南区安全・安心まちづくりフェスティバル (11/3)
 - ・市民平和文化イベント (11/3)
 - ・国際フェスタ (11/20)
 - イ 民間主催の大型イベント
 - ・ツーリズム EXPO ジャパン 2022 (9/22)
 - ・ひろしまフードフェスティバル (10/29~30)
 - ・中国新聞レディースクラブ STORY (11/16)
 - ・広島空港祭り (12/11)
 - ・広島銀行での展示 (12/14~15)
 - ・HIROSHIMA マチナカ HAPPY CHRISTMAS (12/17~18)

3 今後のスケジュール

- ・引き続き、募集するとともに、個別の企業等を訪問し協力を依頼
- ・県民会議 HP にて公開 (随時更新)
- ・引き続き、イベント等への出展を実施

令和 5 年 1 月 1 7 日
平和・若者参画推進課

海外メディアの招へいについて

1 目的

G 7 サミット開催地として、国内外から広島への注目が集まる機会を捉え、サミット参加国の主要紙等に働きかけを行い、広島に招へいして、被爆の実相や広島の復興などを発信する。

2 事業の概要

(1) 招へい対象メディア等

G 7 各国（日本を除く）の主要紙等を想定

(2) 取材先

メディア等の希望を考慮しつつ、被爆の実相、原爆の惨禍から復興した広島、若い世代の平和の取組などを中心に取材先とする。

(3) 招へい日数

最大 4 泊 5 日を想定

3 今後のスケジュール

1 月中旬 取材依頼の送付

2 月中旬 回答期限

2 月下旬以降 招へいに応じたメディアによる取材

令和5年1月17日
事業推進課
平和・若者参画推進課

県民会議主催プレスツアーについて

1 目的

G7サミットの開催地として世界から広島に注目が集まるこの機会を活用し、在京の海外メディアに対し最大3回のプレスツアーを実施し、海外向けの報道を通して、広島の魅力や平和のメッセージを世界へ発信する。

2 事業の概要

(1) 対象

海外メディアのうち日本に駐在している記者。専門を政治経済としている記者が多い。(記者は1回あたり最大10名程度を予定。)

(2) 回数

最大3回(各回一泊二日)を予定。

(3) 取材先の選定

報道機関の参加率を高めるとともに、より多くの報道・記事化につなげるため、過去のサミットや国のツアー実績等で知見のある委託事業者と共に、各回の主なテーマを設定し、テーマに沿った取材先を選定する。なお、選定に際しては、市町からのコンテンツ提案の内容を参考にする。

(参考：ツアーのスケジュール)

回数	主なテーマ・分野
第1回	記者の関心が高い産業や環境分野を中心に構成。
第2回	記者の参加率を上げるために、第1回の内容とは少し変えて、食や伝統、文化なども含めて構成。
第3回	記者のムードがサミットに向けて高まっている時期であるため平和を中心に構成。

3 今後のスケジュール

12月～	取材先との調整
2月初旬	第1回プレスツアー実施
3月下旬	第2回プレスツアー実施
4月下旬～5月上旬	第3回プレスツアー実施

県民会議ホームページ・SNSの運用について

1 目的

県民会議ホームページ及びSNS（ツイッター、フェイスブック）を開設し、県民会議の活動状況や、G7広島サミットに関する情報を発信することで、県民、市民、来訪者、事業者等へ広く情報提供を行うとともに、サミットへの理解促進や機運醸成を図る。

2 事業の概要

(1) 掲載情報等

〈ホームページ〉 令和4年9月14日開設

- ・広島開催の意義、県民会議の概要、県民会議での取組報告、応援する取組・協賛等の募集や紹介、広島への来訪者向け情報、プレスリリースなどを掲載。
- ・また、広島に来訪する外国人向けに、広島県内の交通手段や日本に滞在する上で役立つ情報を新たに掲載した。
- ・現在公開中のページについては、多言語（英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語）対応済み。

〈SNS〉 令和4年8月19日開設

- ・県民会議の活動状況（イベントでのブース出展の告知、メディア出演情報等）やG7サミットに関する豆知識等を発信。
- ・広島サミット開催前日までのカウントダウン投稿を実施中。

(2) アクセス状況等

〈ホームページ：PV数〉

総PV数・・・135,342PV（9月14日（HP開設日）から12月31日）

一日あたりの最多PV数・・・4,065PV（9月15日）（HP開設翌日）

〈SNS：フォロワー数〉

ツイッター965人、フェイスブック350人

SNSの投稿にあたっては、内容により広島県、広島市などによるリツイート等を行っている。

〔広島県フォロワー数 ツイッター168,453人、フェイスブック 28,000人〕
〔広島市フォロワー数 ツイッター31,963人、フェイスブック 5,327人〕

※いずれも1月5日時点のフォロワー数

3 今後のスケジュール

運用中。随時、必要な情報を掲載・拡充等

G7広島サミットPR動画の制作について

1 目的

PR動画を制作し、G7サミットの広島開催を市民・県民等に周知するとともに、歓迎機運醸成等を広く図る。

2 事業の概要

(1) 内容

① コンセプト

不安定な国際・社会情勢において、身近な子供や高校生の不安な様子を示したうえで、広島の人々に息づく願いが、折鶴にのせて、世界へ羽ばたき、世界中に届くことで、平和な国際情勢につながっていくよう表現。この映像を通じて、市民・県民等に広く広島サミットの開催意義を伝えるもの。

② 主なターゲット

広島市民・県民

③ 規格

放映場面にあわせて、1分・30秒・15秒の3種類を制作

※テレビCM等で使用されている「REDカメラ」による6K映像を撮影

(2) 活用方法

交通結節点や商業施設等のデジタルサイネージ、PRイベントブース、各種会議・セミナー、各種ホームページ、広島サミット県民会議公式SNS等で令和4年12月21日から放映開始。

3 その他

サミット開催に向け実施される、県民会議事業や行政事業等の準備の様子や事業実施の映像を撮影した、おもてなしメイキング動画も作成予定。

ポスター等の掲示物の制作について

1 目的

PRポスター等を作成し、G7広島サミットの開催を市民・県民等に周知するとともに、歓迎機運醸成等を広く図る。

2 事業の概要

(1) 第2弾PRポスターについて

- ① デザイン
右図のとおり
- ② コンセプト
サミットに対する理解を深めていただくため、参加国や想定される議題等を文字やイラストで表現
- ③ 大きさ及び作成枚数
A1サイズ 3,000枚
A2サイズ 10,000枚
B3サイズ 2,000枚
- ④ 配布先
広島サミット県民会議構成団体、広島サミットを応援する取組の認定企業・市民団体等、県内小・中高等学校等
(計：約1,200箇所)
※令和4年12月12日から発送



(2) パネルについて

- ① 目的
市民・県民等のG7広島サミットに対する理解促進を図るため
- ② デザイン・内容
別紙のとおり
- ③ 展示先等
県民会議出展イベント等で展示するほか、県民会議構成団体に貸出し、また要望が多いことからデータでも提供し、それぞれの行事等で展示

3 今後のスケジュール

ポスターは第3弾まで作成を予定しており、フェーズごとにデザインを変え、最適な情報発信を段階的に実施予定。

4 その他

ポスターについては、G7サミットの広島開催を応援する取組等での活用を促進する。

令和5年1月17日
事業推進課

サミットに合わせて来訪する関係者への魅力発信について

1 目的

サミットに合わせて来訪する関係者へ、県産品を活用した記念品及び観光情報等を提供することにより、広島の魅力を発信し、再来訪につなげる。

2 事業の概要

記念品の作成・配布

- (1) ノベルティ（2種類程度）とメッセージカードをセットにした記念品を作成（20,000セット作成予定）
 - ・ノベルティには県産品を使用し、サミットに携わった記念となるもの、かつ広島の魅力を発信できるものとする
- (2) メッセージカードに観光情報が掲載されたサイトのQRコードを記載するとともに飲食店ガイドを同封する等、広島の魅力を発信
- (3) 宿泊施設と調整し、来訪する関係者へ記念品を提供（各部屋に記念品をお届け又はフロントで受け取れるよう調整）

3 今後のスケジュール

- | | |
|------|--------------------|
| 1月 | 記念品プロポーザル実施 |
| 2月 | 事業者決定・記念品等検討・配送等入札 |
| 2～3月 | 記念品等作成 |
| 4月 | 宿泊事業者等との調整 |
| 5月 | 配送及び配布 |

令和5年1月17日
平和・若者参画推進課

G7広島サミットジュニア会議の実施について

1 目的

未来を担う若者が、国際的な諸課題やその解決に向けた取組などについて理解を深めるとともに、困難な課題にもチャレンジ精神を持って取り組むようになる契機とする。

2 事業の概要

(1) 主催

広島サミット県民会議

(2) 開催期間

令和5年3月27日（月）～3月30日（木）

(3) 開催場所

主会場：広島県広島市

(4) テーマ

国際的な諸課題やその解決に向けた取組、自身が考える役割などについて、参加者の若者が意見交換を行うことが可能なテーマを予定

例：平和、持続可能性、多文化共生など

(5) プログラム（予定）

月日	主なプログラム内容
3月27日（月）	参加者広島市集合
3月28日（火）	オリエンテーション、被爆の実相について理解を深めるプログラム（平和記念資料館見学、慰霊碑参拝・献花、被爆体験証言聴講等）、グループディスカッション
3月29日（水）	県内視察、グループディスカッション、地元交流
3月30日（木）	グループディスカッション、全体ディスカッション、成果文書の発表（一般公開予定）

※視察先などは今後決定

(6) 募集人数

日本国内在住のG7各国（日本以外）出身の方 12名（各国2名）

広島県在住の日本人の方 12名

(7) 募集期間

令和4年12月12日（月）～令和5年1月13日（金）

(8) 応募要件

- ・概ね15歳から18歳まで（高校生相当）であること
- ・G7広島サミットや国際的な諸課題へ高い興味・関心を有していること
- ・G7各国の参加者との英語による積極的なディスカッションができること など

3 今後のスケジュール

1月下旬～2月上旬	参加者の選考
2月中旬～3月中旬	オンラインによる事前学習プログラム
3月27日～3月30日	当日プログラム

令和5年1月17日
平和・若者参画推進課

国際舞台で活躍する外交官と話そう！サミット塾の実施について

1 目的

国際舞台で活躍する現役の外交官によるサミットや外交・国際問題をテーマにした講座等を開催することにより、今後の広島の担い手となる若者の国際感覚やチャレンジ精神を涵養する。

2 事業の概要

- (1) 対象者
広島県内の中学校・高等学校、高等専門学校の生徒（国公立、私立は不問）
- (2) 実施形式
対面またはオンライン形式
- (3) 内容
 - ① 講座
国際舞台の第一線で活躍する外務省職員が、G7サミットの説明を行うとともに、外務省の仕事や役割等、日々の外交業務を通じた異文化コミュニケーションや国際交流の体験や秘訣について講話を行う。
 - ② 座談会
講座終了後に希望校には、少人数での座談会を実施。
- (4) 講師
外務省職員
- (5) 時期・回数
令和5年1月～令和5年3月（23校）
※実施については外務省と調整済

3 スケジュール

- | | |
|------|----------------|
| 11月 | 実施希望校の調査 |
| 12月 | 実施校の決定、プレスリリース |
| 1～3月 | 順次実施 |